

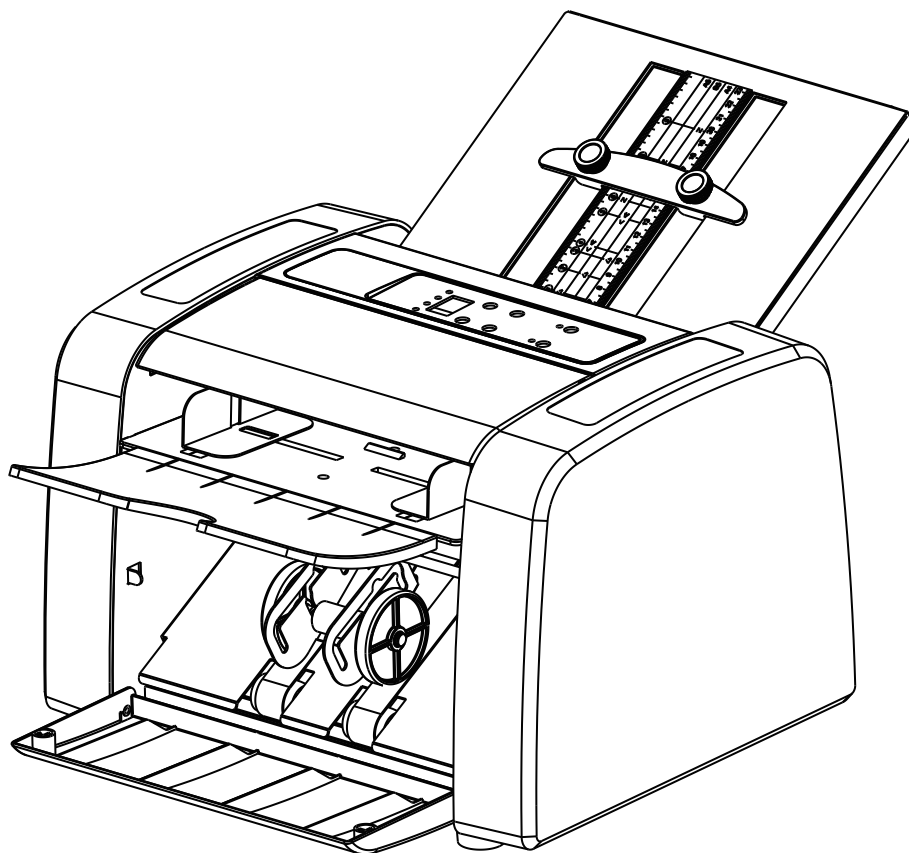
取扱説明書

NIPPO®

自動紙折り機 NP110

このたびは、ニッポー自動紙折り機NP110をお買い上げいただき、ありがとうございました。

安全にお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、この取扱説明書は、いつでもご覧になれるところに、大切に保管してください。



◎仕様

- 用紙サイズ : A5～A4
紙 質 : PPC用紙(普通紙、上質紙: 60g/m²～90g/m²)
写真印刷など印刷が濃い用紙などでは正常に折れない場合がございます。
用紙積載量 : 最大135枚(64g/m²の場合)
紙折り速度 : A4判上質紙二つ折り時 約80～100枚/分
排紙方式 : 整列排紙
電 源 : AC100V 50/60Hz(消費電力: 50W)
機械の大きさ : 収納時: 本体300(幅)365(奥行き)265(高さ)mm
使用時: 設置530(幅)365(奥行き)335(高さ)mm
重 量 : 11kg

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、お使いになる前に必ず本書をお読みください。
また、本書はいつでもご覧になれる所に保管してください。
この説明書は、お客様やまわりの人への危害、生命の安全、または財産への損害を未然に防止するために、危険をとまなう操作やお取り扱いについて警告表示や注意表示をおこなっています。
内容をよくご理解のうえでお使いください。



警告

誤った取り扱いにより、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 電源コードは必ずプラグ部分を持って抜き差しをおこなってください。
感電や発熱による発火の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したり、延長コードの使用やタコ足配線はしないでください。
感電や発熱による発火の原因になります。
- 製品の分解や改造は、絶対にしないでください。
感電や発熱による発火、異常動作をしてけがをするなどの原因になります。
- 製品に水をかけたり、濡れた手で運転操作や電源プラグの抜き差しをしないでください。
感電の原因になります。
- 製品の移動やお手入れは、電源プラグ、紙折りテーブルを外しておこなってください。
紙折りテーブルの落下などによって思わぬけがをしたり、感電の原因になります。
- アース線を接続せずに、使用しないでください。
アースが接続されないで万一、漏電した場合は火災・感電の原因になります。
アース接続できない場合は、専門の工事業者にご依頼ください。
- アース線を電源コンセントに差し込まないでください。
アース線はアース端子以外には接続しないでください。火災・感電の原因になります。

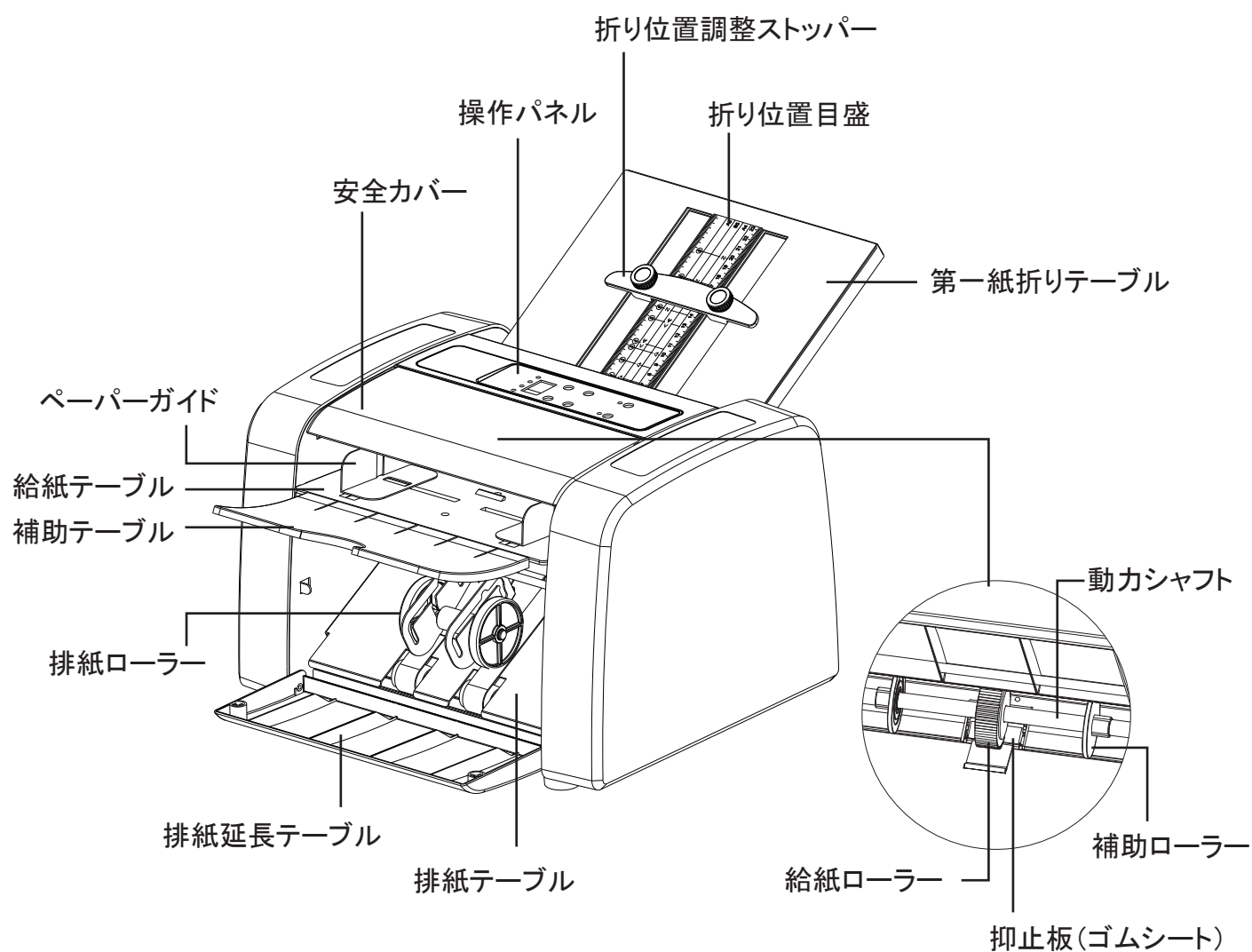


注意

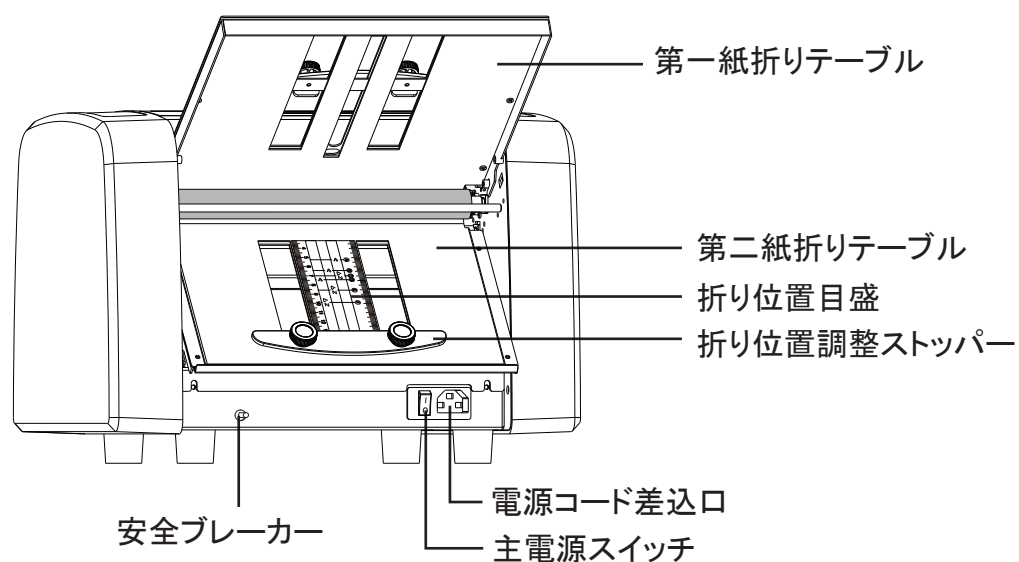
誤った取り扱いにより、人が傷害を負う可能性および物質的損害の可能性が想定される内容を示しています。

- 長時間使用しない場合は、電源プラグを抜いてください。プラグは傷めないように保管してください。
コードを引っ張ってつけたり、コンセントの差し込みがゆるんだりホコリが付いていると、感電やショートの原因になります。
- 紙折りをおこなっている最中は、ローラーや紙折り途中の用紙に触らないでください。
ローラーの回転に巻き込まれて、思わぬけがをする場合があります。
- 紙折りテーブルを外した状態で電源を入れないでください。
ローラーの回転に巻き込まれて、思わぬけがをする場合があります。
- 紙詰まりの解除や、ローラーに近づいたり触ったりする場合は、必ず電源を切ってください。
急に動作を開始して、回転に巻き込まれたり、高速で移動中の用紙にぶつかったりして、思わぬけがをする場合があります。
- 動作中に、紙詰まりや異物によるロック状態や異常音が発生した場合は、速やかに電源を切ってください。
放置したままにしておきますと、本体の破損や寿命に影響したり、発熱したりして、思わぬ被害が発生する場合があります。
- 本体の設置は、十分な広さや強度の安定した机の上でおこなってください。
本体が落下してけがをしたり、本体を破損したりする場合があります。
- 本体は、強度のない机や不安定な机、せまい机、滑りやすい机に設置しないでください。
本体部品にぶつかって思わぬけがをしたり、本体部品を破損したりする場合があります。
- 本体の上に物を置いたり、本体の上に物を吊るしたりしないでください。
落下した物が、ローラーに巻き込まれて損害を与えたり、本体部品を破損したりする場合があります。
- 電源コードは同梱の物を使用し、本製品以外に使用しないでください。
故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所や高温多湿の場所でのご使用は避けてください。
本体に影響を与えたり、紙折り動作ができなかったり、本体の寿命に影響を与えたりする場合があります。
- 精密機械の近くでの使用や、ラジオ、テレビの近くでの使用は避けてください。
電波障害により、周辺機械に影響を与える場合があります。

各部名称



● 本体背面

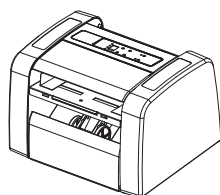


操作前の準備

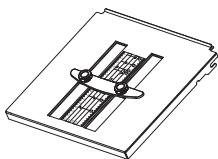
① 本体を梱包している緩衝材などを取り外してください。

梱包箱や緩衝材は、修理などで本製品を安全に輸送する際に必要となります。
大切に保管しておきましょう。

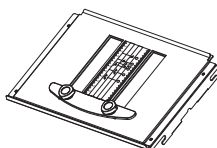
梱包内容の確認



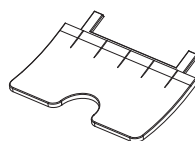
本体



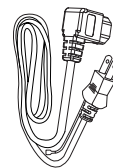
第一紙折り
テーブル



第二紙折り
テーブル



補助テーブル



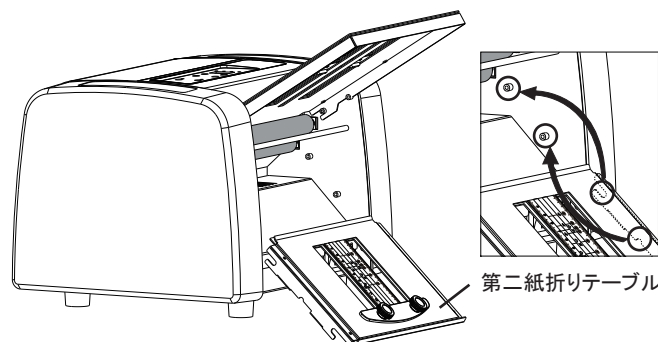
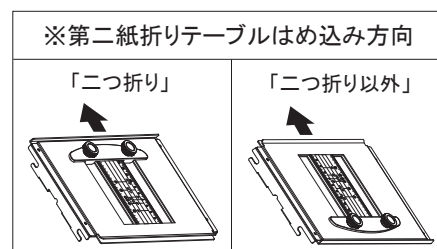
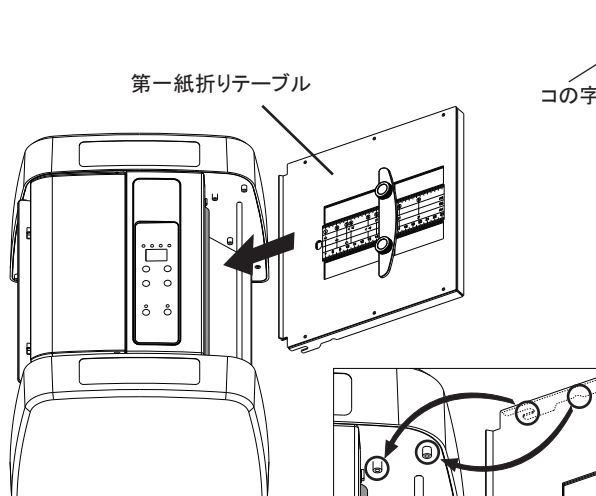
電源コード



- ・L型六角レンチ
- ・取扱説明書(本書)
- ・保証書

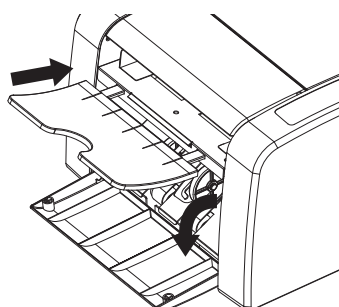
② 第一、第二紙折りテーブルを本体に取り付けます。

軸の位置を間違えないように、奥まで確実にはめ込んでください。
コの字のガイドに奥の軸を入れて、くぼみに手前の軸をはめます。

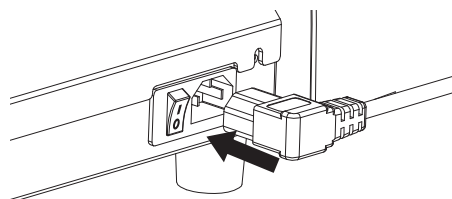


③ 補助テーブルを取り付けて、排紙延長テーブルを開きます。

納品時排紙ローラー固定用のテープが貼ってありますので、テープを取り除いてください。



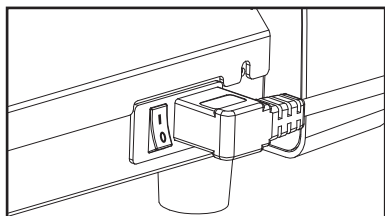
④ 主電源スイッチがOFFになっていることを確認して、電源コードをつなぎます。



⑤ アース線を接続してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

操作方法

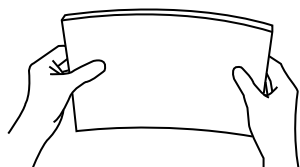
1 電源を入れます



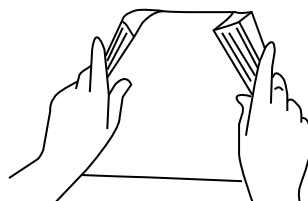
主電源スイッチをONにしてください。

2 紙のさばき方

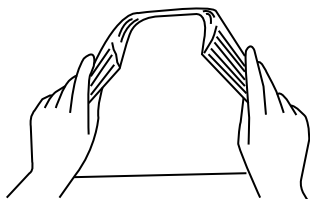
スリップや重送などを防ぐため、用紙を折る前に必ず「紙さばき」を行ってください。



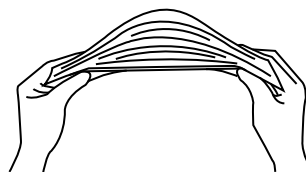
① 用紙を重ねて持ちます。



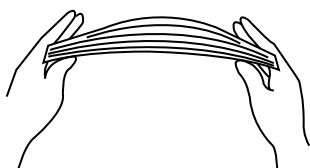
② 両側から用紙を内側に曲げ。
用紙の広がった部分を人差し指で押えます。



③ 人差し指で押えたまま、
親指で内側の用紙を押
えます。



④ 人差し指・親指で用紙を押えたまま
用紙を立てると、上の画像のように
用紙と用紙の間にすき間ができ、
空気が入り、用紙がさばけます。

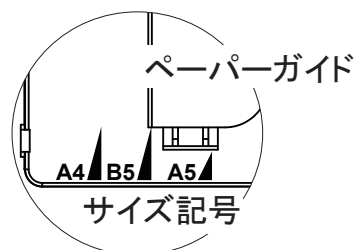


⑤ そのまま落して用紙を揃えます。
逆側も同じように①～⑤の順で
さばいて下さい。

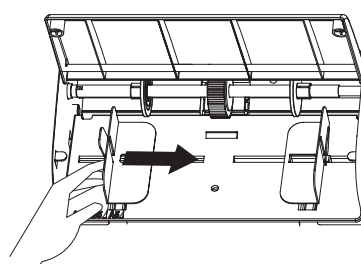
操作方法

3 用紙をセットします

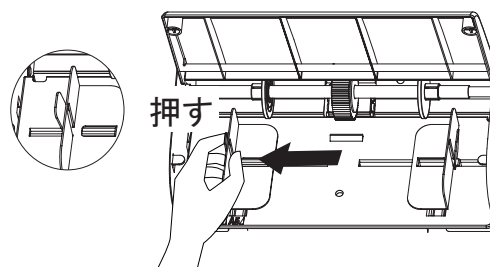
- ① 安全カバーを開けて、用紙サイズによって、左側のペーパーガイドを給紙テーブルに記載されたサイズ記号に合わせてください。



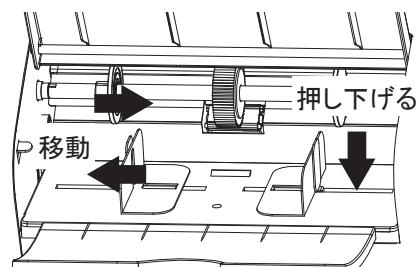
【ペーパーガイドを内側に移動したい場合】
ペーパーガイドを外側から手で推してください。



【ペーパーガイドを外側に移動したい場合】
外側の金属プレートを指で押しながら、
ペーパーガイドを移動してください。

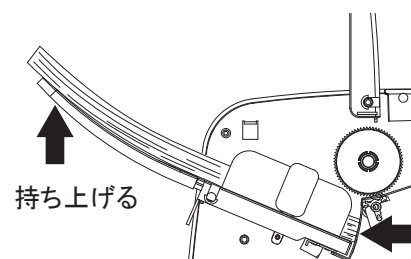


- ② 補助ローラーを用紙サイズの内側約10mm程度の位置に合わせてください。補助ローラーがペーパーガイドより外側にある場合は給紙テーブルを押し下げながら移動させてください。



- ③ 補助テーブル裏側に手を添えて持ち上げ、給紙テーブルを下げてください。

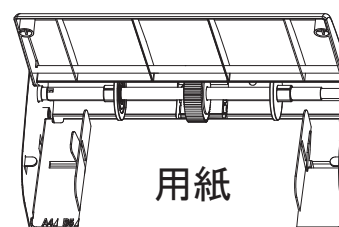
- ④ 用紙を突き当たりまで入れて用紙を整列してください。



- ⑤ 用紙をセットし、紙がずれないように、右側のペーパーガイドを移動させ、左右のガイドが用紙の側面に密着するように当ててください。

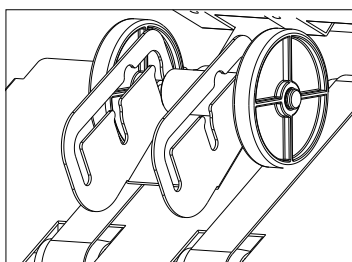
- ⑥ 補助テーブルを持ち上げている手を離して給紙ローラーに用紙を挟んでください。

- ⑦ 安全カバーを閉めてください。

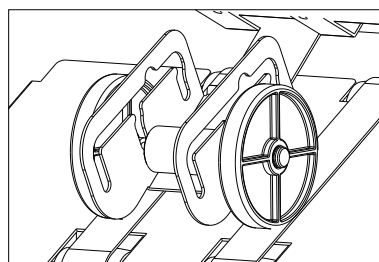


4 排紙ローラー位置調整

排紙ローラーを折り方に合った位置に移動して下さい。
適切な位置に移動させないと紙詰まりを起こすことがあります。



三つ折りや四つ折りの場合は、
排紙ローラーを奥に移動します。



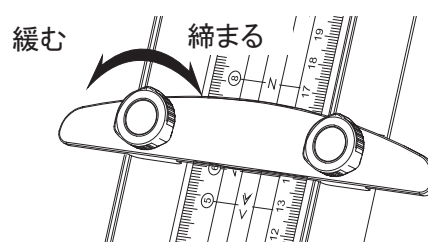
二つ折りの場合は、排紙
ローラーを真ん中に移動
します。

5 ストッパーを調整します

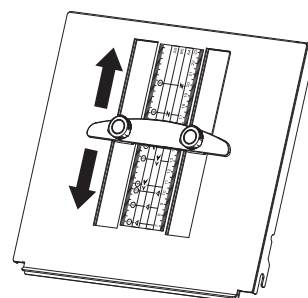
第一・第二紙折りテーブルの目盛の位置に折り位置調整ストッパーを合わせてください。

例：A5サイズの外三つ折りの場合は 第一紙折りストッパーを6の位置に調整
第二紙折りストッパーをCの位置に調整

- ① 左右の折り位置調整ダイヤルをゆるめてください。



- ② 折り位置調整ストッパーをスライドさせ、目盛に
ストッパーが平行になる様に合わせて締めます。
平行でないと横折りズレの原因となります。

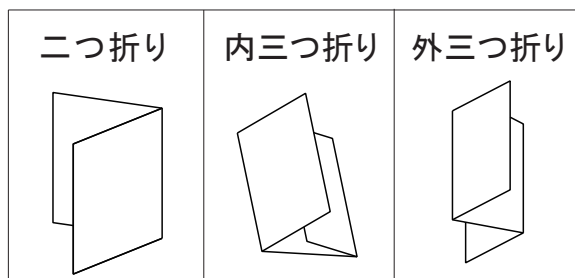


折りのストッパー位置のガイドラインはあくまで参考用です。
紙質や印刷状態などによっては、ストッパー位置を調整する必要があります。
テスト折りであらかじめ折位置調整ストッパーの微調整、確認を行ってください。

(6ページの表の数値はそれぞれのトレイの目盛の寸法です。)

操作方法

折り方の種類と折り位置



テーブル	第一紙折りテーブル			第二紙折りテーブル		
用紙 折り方	A4	B5	A5	A4	B5	A5
	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号	寸法記号
二つ折り △ (Single)	148.5 ⑦	128.5 ⑤	105 ④	— 第二紙折りテーブルを逆にして、本体に取り付けてください。 (第二紙折りテーブルに用紙を通さないため)		
内三つ折り △ (Letter)	99 ③	85.7 ②	70 ①	99 ⑦	85.7 ⑤	70 ③
外三つ折り Z (Z-Fold)	198 ⑨	171.3 ⑧	140 ⑥	99 ⑦	85.7 ⑤	70 ③

操作方法

6 カウンター設定

Step1



セット/エンターを押します →

表示板

--- (点滅)

設定待ち状態

Step2

加算の場合 **+** 加算プリセット

どちらか
減算の場合 **-** 減算プリセット
選択します →

表示板

050 (点滅)

初期設定数 :「050」

Step3

+ か **-** を押して、
折り枚数をセットします



軽く押すと1ずつ増加(減少)
長押しすると早送り増加(減少)します
*範囲は000から999まで

Step4



セット/エンターを押して、
セット完了 →

加算の場合

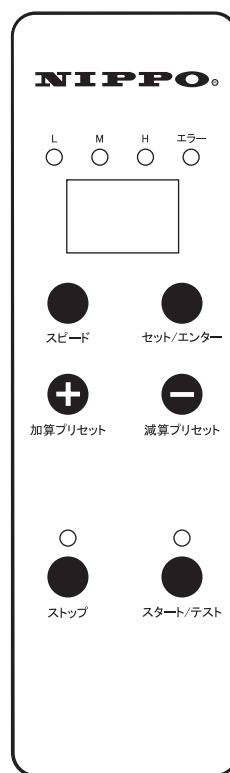
000

(カウントアップします)

減算の場合

050

(カウントダウンします)



7 スピード設定



スピードを押すと速度変更できます。

紙折りを行っている最中は変更できません。
スピードはH(高) M(中) L(低)3段設定可能、
紙質によって、スピードを調整してください。

スピード設定参考

薄い(軽い)紙 ⇒ 低速
厚い(重い)紙 ⇒ 高速

8 連続折りモード

※枚数をセットしない場合に便利です。



セット/エンターを押してから、



ストップを押すと、

表示が000となり、連続モードになります。

9 テスト折り



スタート/テストを長押しして、1枚テスト折りします。(ビープ音3回)

※テスト折りの用紙枚数はカウントしません。
折りストッパー位置のガイドラインはあくまで目安となります。
紙質や印刷状態などによっては、ストッパー位置を調整する
必要があります。本番折りの前に、テスト折りで折ズレがない
ようにあらかじめストッパー位置の微調整、確認を行ってください。

10 紙折り開始

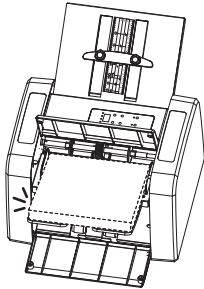
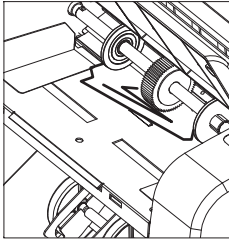
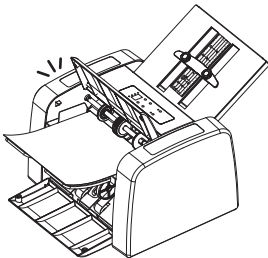


スタート/テストを軽く押して、紙折り開始します。



ストップボタンを押すと、紙折り停止します。

エラー表示

エラー表示	エラー内容	原因と処置
-01	用紙切れ 	原因：用紙が切れています。 処置：給紙テーブルに用紙があるか確認してください。 用紙を補給してください。 原因：用紙検出エラー。 処置：一番下に、一枚白紙を入れてください。
-02	紙詰まり / 給紙されず 	【紙詰まり】 原因：内部に紙が詰まっています。 処置：電源を切って、詰まっている紙や紙片などを取り除いてください。 【給紙されず】 原因：正常に給紙されていません。 処置：紙さばき、用紙ガイド設置し直し、 抑止板圧・スピードなどを調整してください。 原因：カウンターセンサー検出エラー 処置：① 太陽光の当たらない場所で設置してください。 ② センサーをエアダスター等で清掃してください。
-03	安全カバーエラー 	原因：安全カバーが開いています。 処置：安全カバーを正しく閉めてください。

※処置をしてストップボタンを押してもエラーが出る場合は電源をオフにして、お手数ですがお客様センターまでお問い合わせ願います。

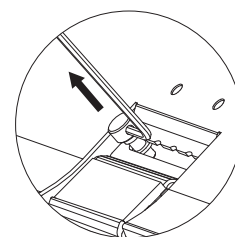
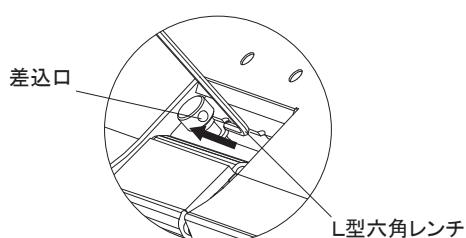
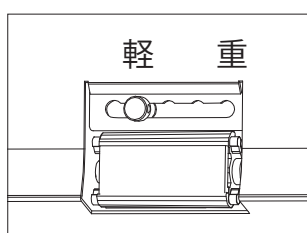
抑止板圧の微調整方法とローラーの清掃方法

抑止板圧の微調整の方法

用紙が重送したり、給紙ローラーが空回りして給紙しなかったり
する場合は、最適な給紙になるように抑止板圧を調整してください。
工場出荷時は左から2段目に調整されています。

※ 2段目は一番軽い荷重です。(概ねPPC用紙64g/m²)

抑止板圧の調整は給紙ローラーを取り外してからおこなってください。
(給紙ローラーの取り外し方は11ページを参照してください。)

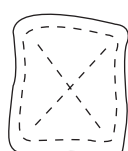
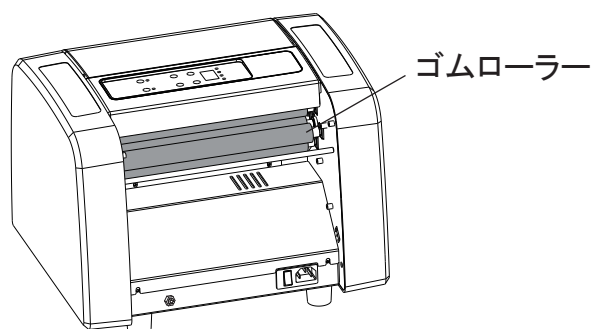


- ① 抑止板の押し圧は、
軽い荷重(左2段目)
から重い荷重(右)の方
に4段階調整できます。
- ② L型六角レンチを使用
して、丸型金具の側面
にある穴に差し込みます。
- ③ 丸型金具を引き上げる
ように、望む位置に移動
させます。

ローラーの清掃方法

紙粉や印刷物のインクなどの汚れが付着すると、紙詰まりを起こす原因となります。
定期的にクリーニングをおこなってください。

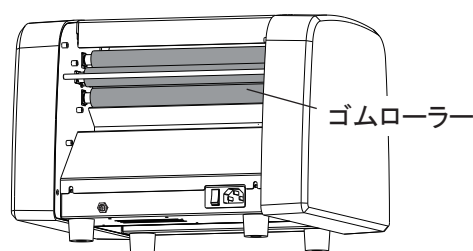
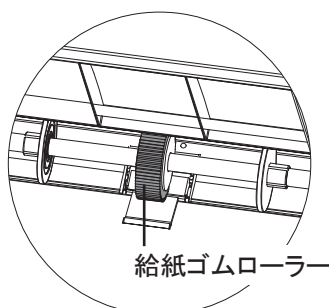
- ① 電源プラグを抜いて、
第一、第二給紙テーブルを取り外します。
- ② きれいな布にアルコールを含ませ、
手でゴムローラーを回転させなが
ら拭いて下さい。



きれいな布

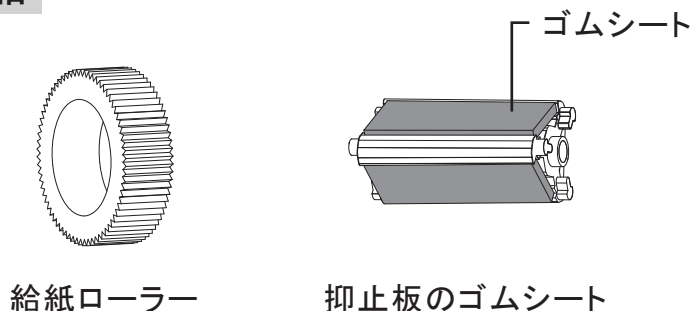


アルコール



サプライ品と交換方法

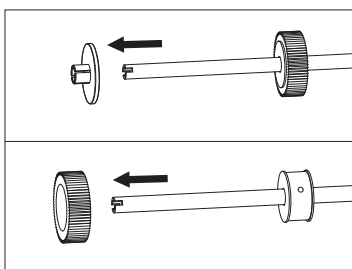
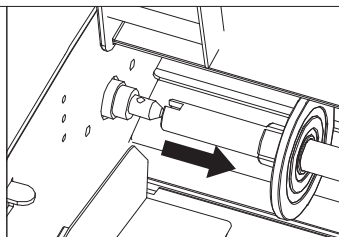
サプライ品



給紙ローラーの交換方法

給紙ローラーとゴムシートは消耗部品です。給紙ローラーやゴムシートが消耗して、給紙力が落ちてうまく給紙できなくなったら、新しい物と交換してください。

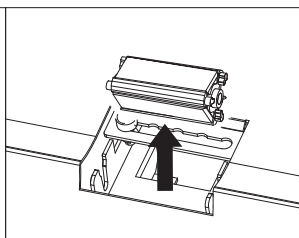
給紙ローラーを交換する場合には、電源を切って安全カバーを開けてから、動力シャフトを図のように矢印方向に押して本体の動力シャフトのジョイントから手前に外します。



動力シャフトから補助ローラー・給紙ローラーを取り外し、新しい給紙ローラーに交換します。補助ローラーを用紙サイズに合わせ、用紙の内側約10mm位置に移動します。また、給紙ローラーを再び取り付ける場合には、ジョイントへ確実に結合します。

抑止板の交換方法

抑止板は3面使えます。抑止板の交換や、面を変える場合には、本体から動力シャフトを取り外してから抑止板を図のように持ち上げて交換や、面を変えてください。



故障かなと思ったら

故障かなと思ったら修理を依頼する前に、まず下記の内容をご確認ください。

- 用紙の紙質、サイズ、重さ、印刷インクの状態などによって、正しく折ることができない場合があります。また、折り線やシワのある用紙なども正しく折ることができません。
- 下の表に従って対処を行っても、症状が軽減されない場合や解決できない場合は、電源を切ってからお買い上げの販売店、もしくは、お客様センター、最寄の営業所までご連絡ください。

状 況	確認内容	対処方法
ボタンを押してもモーターが動作しない	●電源プラグが差し込まれていますか？ ●エラー表示されていませんか？ ●ブレーカーが落ちていませんか？（落ちると赤いボタンが飛び出します）	⇒ ●電源プラグを差し込んでください。 ⇒ ●エラー表示された問題に対処してください。 ⇒ ●ブレーカーボタンを押して、1分間ぐらい待ってから再起動してみてください。
用紙が数枚重なって給紙する	●印刷インクや静電気などで用紙がくっついていませんか？ ●カタログなどの用紙ですか？ ●抑止板圧を軽い方向に調整していませんか？	⇒ ●用紙をよく裁いてから給紙テーブルにセットしてください。 ⇒ ●光沢紙を折る場合は、枚数を少なくしてください。 ⇒ ●抑止板圧を重くする方向(右)に調整してください。
用紙が詰まる	●2～3枚を一緒に給紙していませんか？ ●内部に紙片や異物が詰まっていますか？	⇒ ●上と同じ対策をおこなってください。 ⇒ ●電源を切って、紙折りテーブル内、ローラー内、本体内部のテーブル付近を探して、異物を取り除いてください。
給紙スリップ	●カタログなどの用紙ですか？ ●給紙テーブルに135枚以上の用紙をセットしていませんか？ ●抑止板圧を重い方向に調整していませんか？ ●ローラーが汚れていませんか？	⇒ ●光沢紙を折る場合は、枚数を少なくしてください。 ⇒ ●用紙の枚数を減らして再セットしてください。 ⇒ ●抑止板圧を軽くする方向(左)に調整してください。 ⇒ ●ローラーを清掃してください。
シワになる	●内部に紙片や異物がつまっていますか？ ●用紙のセットが不揃いになっていませんか？ ●ローラーが汚れていませんか？ ●抑止板のゴムシートが摩耗していませんか？	⇒ ●電源を切って、異物を取り除いてください。 ⇒ ●用紙をよく揃えて、ペーパーガイドに正確に合わせてセットしてください。 ⇒ ●ローラーを清掃してください。 ⇒ ●抑止板のゴムシートを交換してください。
スタートすると、-02エラーが表示される	●紙詰まりはなく、すぐにエラーが発生していますか？	⇒ ●機器を赤外線(太陽光)の当たらない場所で設置してください。 カウンターセンサーをエアダスターなどで清掃してください。



メモ

武藤工業株式会社

〒154-8560

東京都世田谷区池尻三丁目1番3号

武藤工業株式会社ホームページ

<https://www.mutoh.co.jp/>

カスタマーセンター 0120-147-610

受付時間 9:00～12:00 13:00～17:00

土・日・祝祭日・会社特別休日を除く

本製品についてのお問い合わせ、修理などの際は、お買い上げの販売店、もしくは、カスタマーセンターまでご連絡ください。